ぎょうだ ふるさと 検定

残念不正解です！

問題

NO7.　昭和初期に建てられた、ノコギリ屋根の足袋工場が今も行田市に残っています。この特徴的な屋根の形には、ある工夫がありました。それはなぜでしょう？

ア. 地震に強いから
イ. 一日を通して均一な明かりを取り入れることができるから
ウ. 太陽光発電をしていたから

正解　イ

ノコギリ屋根とは、ギザギザの形をした屋根のことで、工場建築によく使われました。この形にすることで、屋根の一部に大きな窓を設けることができ、太陽の角度が変わっても安定した自然光を室内に取り入れることができます。行田市の足袋工場では、職人が細かい作業をするために、明るく均一な光が必要だったため、この屋根の形が採用されました。

https://ameblo.jp/pias-202/entry-12877241339.html
†PIAS†isn't anything アメブロより